opusdei.org

<同じ羽を持った鳥 たち>

大人数の兄弟たちがお互いに 仲間意識をはぐむようにな ったなには、あるスペーつのようの 家言葉」が必要だったアー ですがといったアーガン を聞きました。

2009/08/12

ローザ ピックとホセマリア ポス ティーゴは15人の子供たちと一緒に バルセロナ近郊のサリアに住んでいます。

質問:「子どもたち全員がある時間、例えば夕食の時などに集まってあなたの話を聞くと言うことがありますか?」

ーそうですね。みんなが集まるのは 夕食の時位でしょうか。子どもたち は一緒に集まりほんとに楽しそうで すよ。学校での出来事とか驚くよう な体験談などめいめいが話してくれ ますよ。

質問:「勉強時間や外出、公園へ遊びに行く等どうやってやりくりされているのですか?」

一我が家のやり方は、年上の子どもは年下の弟や妹のめんどうを見るということです。上の子はそれぞれが気にかけている妹や弟がいます。初めの頃は全くうまく行かなかったのですが、9歳のテレサがある時みん

なの寝室のドアにメモ書きをテープで貼ったのがきっかけとなったのでした。<同じ羽を持った鳥は集まる>と書いてありました。そしてこれが我が家の合言葉になったのです。

質問:「ところで毎日の食事こしらえ、あるいは勉強でわからないことがあったとき教えるとかあるいは沢山の洗濯など、誰かが手助けしてくれているのでしょうか?」

一私は外に仕事を持っています。但 し、半日勤務で昼食に家に戻り年後 は子どもたちの世話をしてどもたちの世話をで子さんでいます。 年前中は学校があるが長いさんでいます。 は居ませんので、おすを日来っては はお願いしています。 毎日3回は動かしています。 が、毎日3回は動かしています。 が、毎日はが、台所にいる時 間はそんなに長くはなく、2~3人の 子どもの家庭とあまり変わらないと思います。大事なことは、なんでも無駄のないよう手順よくシンプルにすることです。

質問:「これだけの大所帯となると 生活費も掛かることでしょう。経済 的に余裕があるのですか?」

一主人と私の収入だけでやりくりしています。買い物はいつも一番安安スーパーマーケットで、ノーブランドの物を買っています。子どもいます。4段ベッドで寝ています。大切なことは、みんなが一緒に幸さし、楽しい時間を過ごすことでしょう。を感じているということでしょう。

質問:「多くの子どもたちのこまごまとした問題を気にかけ、一人ひとりの話を聞いてあげる・・・大変ハードなことではありませんか?」

一確かにそのためには、私たち自身がしっかりした考え方を持って何と大きには、特にしてで何さればいけません。特にはないでもなるときでで図慣ではない。美徳ではいるでではよって信がない。ではないではないでではないでではないでであるといるででであるといるででであるといるででであるといます。としてはまりであるといます。とは、集中する力をもらっています。

一番大事なことは子どもたちの形成です。他のことは誰かに任せることができますし、実際そう努めています。私にとっては、埃ひとつない家が目標ではありません。すべてがパーフェクトでなくてもいいのです。

質問:「あなたの家では、静かな時間というものが一体あるのでしょうか?」

一娘の友達で、3人きょうだいで10歳になる子が家に来たとき、「自分の家より勉強がはかどるみたい」と私に告げたことには驚きました。

子どもたちは殆どは学校に行っているかあるいは庭で遊び廻っているわけですが、試験の時期が近づくと静かにして、図書館のように小声で話すことをわきまえているようです。廊下をバタバタ走ることもせず、勉強の時間を大切にしようとしています。

質問:「日中は家では通常どんな仕事が繰り返されているのでしょうか?」

一週日は、朝7時に家を出てミサに 与かります。仕事は8時15分からで す。子どもたちは全員学校に行きま す。年上のものは年下のものが学校 に行く準備が出来ているかどうか チェックします。そして午前中家事 を手助けしてくれる婦人が来ます。 マイカーで仕事に行く時は、一人の男の子を乗せ2丁目先のパン屋さんの前で降ろします。彼は12斤のパンを買って家に戻ります。この仕事は子どもたちが7歳になるとやってもらいます。寝坊したり、やりたくないと思ったら全員が朝食抜きになるのです。こうして少しずつ責任感を学んでいくのではないでしょうか。

旅行などでお宅のお子さんたちは迷子になったりしないかと聞かれることがあります。ええ、あります。そんなことも考えて子どもたちには同じ服装をさせています。もし迷子になっても、誰にでもあの15人の子持ちのお母さんの子どもとすぐ判るためです。

質問:「沢山の子どもが欲しいと決めた理由は何ですか?」

一主人も私も大家族の中で育ったのです。主人の方は13人きょうだい、 私は15人きょうだいでした。最初の 子は、生まれた時医者から心臓に問題があるので3年は持たないと言われました。しかしその後の医療技術の進歩もありお医者さんたちはこの難病を克服することに成功し今娘は元気にしています。2番目の子どもも心臓疾患を抱えて生まれ、すぐに亡くなりました。

悲しいことに3番目の子どもにも同 じことが起きてしまいました。多く の方がこれからも起きることだろう し、子作りはやめたほうがいいと助 言してくれました。私自身はいつ も、子どもはかけがえのない授かり ものであり、神さまからの本当の贈 りものであると考えています。だか ら生後すぐに亡くなっても落胆する ことはやめようと主人と決めたので す。どんな形にせよ子どもはすべて 神の子であると思うのです。この世 に生を享けることの方が全く存在し ないことより素晴らしいのは当然で す。

質問:「最近は、子どもは2人で充分だと言う若い夫婦が多いのですがどう思いますか?」

一それは彼等が育ってきた生活環境からくるものでしょう。

それが流行であったり、時には何も 教えられていないという時代的状況 が原因です。何が欠けているかが分 かっていないだけです。

もし、彼らが子どもたちの本当の幸 せを望むなら、きょうだいが多い方 が一人ひとりの喜びがより一層大き くなるのは確実です。大家族ほど子 どもたちがこれからの人生で学ぶで あろうものの考え方とか価値観を植 えつけてくれると思っています。幼 い頃からきょうだい喧嘩を乗り切る すべを学んだり、チームワークで仕 事をすることあるいはお互いに譲り あうことなどきっと一人っ子では出 来ない数多くの体験をすることにな ります。今日では、いわゆる多国籍

企業といえども一個人では支配できずチームを組んでやっているのと同じです。

このように若い頃からどうすれば仲良くやっていけるのか、小さないさかいがあってもどうやって仲直りし、一緒に仕事できるようになれるのかを体験することは、やがて成長して実社会で同じ体験をした場合は役に立つはずです。

実際のところ、担任の先生方によれば、私の子どもたちは仲間内でことでもたちは仲間内でことで存在にないけるの家に良くの異なってはなっているの家庭がありまた大きを、でしているのではないますが受入のおりました。我がではいますがありました。我がではますではないますではいますです。

質問:「最後の質問ですが、あなたはこのような家族生活に満足していますか?」

一確かにいろいろと大変なことに見ることでしょう。しまう。しまさとは思ってしまがとは思っていることは思いてもいるのではないにするというのとはないに考えていまがしたがある。私がしたものでは、自分をごすがないるのは、いるのは、いるのは、いるのはないといるのは、いるのは、いるのはないといるのは、いるのでは、いるでは、いるのでは、いるでは、いるでは、い

そしてその子どもたちがまた多くの 友達を作り、家に連れてくることに なるのです。

こうして私たちの周りには、それぞれが他の人のために何かをしようと努力し、利己心と戦うという健全な環境が創られるのです。

大家族にあっては、自分自身の時間は殆どありません。しかし本当の幸せとは誰かに何かを求めるのではなく、むしろ誰かのために奉仕することであることを結局は実感できると思います。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/tong-ziyu-wochi-tsutaniao-tachi/(2025/11/22)